

# あゆみ子どもセンター (あゆみ保育園内)

遊びを土台とする子ども文化を守りながら、親の交流と学び、子どもの健康な育ちを支援。



## プロフィール

運営主体 社会福祉法人歩育会 あゆみ保育園  
所在地 〒861-8001 熊本県熊本市武蔵ヶ丘1-4-32  
TEL.096-339-5673 FAX.096-339-6159  
開設 平成7年11月  
開所時間 9時～16時半(月曜日～土曜日)  
スタッフ 常勤2名(保育士)、非常勤1名(保育士)  
利用者数 月間延べ人数約500人



「あゆみ子どもセンター」の開設は平成7年。エンゼルプランの推進を図る熊本市の呼びかけに即応、市の委託を受け現在市内に13ヶ所ある子育て支援センターの“モデル園”として事業をスタートしました。センター開設以前から、子育て相談や親の仲間づくり特に注力し、父母や地域の人々と共に充実した保育内容・保育環境を作り上げてきた「あゆみ保育園」にとって“子育て支援”は特別な事業ではなく「自分たちがやってきたことの延長上で自然に取り組める地域の援助」であり、現在も築き上げた保育の土台をもとに園の特徴と機能をフルに活かした活動を自然なかたちで力強く展開しています。

## 利用者の声

ここに来る前は、とにかく何もかも分からず育児が不安でした。子どもの夜泣きもひどかったし……でも、スタッフの方に良いアドバイスをいただき気持ちが一変になりましたね。育児講座も分かりやすく話していただけるのでとても勉強になります。もちろん、ここで学んだことは主人にもちゃんと伝えていきますよ。

## 事業の特徴

“親への支援を通じて、子どもの健康な育ちを援助していく”ことが、「あゆみ子どもセンター」の事業活動の基本。園庭での自由な遊びと交流を主とした子育て広場「らっこちゃん」、0歳児専用の室内広場「ベビーらっこ」の活動を軸に、園ならではの土遊びや遊具・玩具を使った遊び、動植物とのふれあい、そして園児との交流等を通じて“遊びを土台とする子ども文化”を守りながら、利用者一人ひとりの育児データ

に基づいた細やかな的確な支援を行っています。その他、子育て通信「すくすくめえる(年6回発行)」による育児情報の発信や、園庭で子どもを遊ばせながら自然な雰囲気の中で開かれる「ミニ育児講座(月2回)」、出産前の夫婦を対象とした勉強会「ぶれ・パママセミナー(年2回)」の開催など、その時々々に市の子育てサポーターや先輩ママたちの参加協力を得ながら、親子の交流と学びを深める多彩な活動を展開し

ています。また「あゆみ子どもセンター」は、“子育て情報を共有するための働きも支援センターの役割”との認識から、地域の育児サークルの活動や保育園・児童館・支援センター等の支援プログラムを紹介する「熊本市北部地区子育て支援マップ」を毎年作成。地域のネットワークをつなぐ役割を積極的に担っています。また「熊本市子育てネット」の活動を通じて県内支援センターの活性化を呼びかけています。

# 江東区東陽 子ども家庭支援センター「みずべ」

定期的に開かれる「みずべ会議」を通じて、利用者、ボランティアが積極的に運営参加。



## プロフィール

運営主体 社会福祉法人 雲柱社  
 所在地 〒135-0016 江東区東陽3-1-2  
 TEL.03-3966-4871 FAX.03-5665-4780  
 開設 平成11年6月  
 開所時間 10時～16時(火曜日～土曜日)  
 スタッフ 常勤6名(保育士2名)、非常勤3名  
 利用者数 月間延べ人数約1400人



“地域で親しまれ信頼される、子育て共同体としてのひろばの創造”——それが「みずべ」の一貫した事業コンセプトです。現在「みずべ」は区内に5ヶ所、いずれも“親子が自由に集えるひろば”として、“公設民営”の形で行政及び関係機関と連携を図りながら運営されています。

ここ江東区は、今もマンションの建築ラッシュが続く全国に例を見ない人口急増の自治体——他区・他県から引越してきたばかりの親子が、“慣れない町での子育ての不安”を抱え頻りに「みずべ」を訪れます。今後も人口増に伴い子ども数の増加が予測される地域の中、“親子の心のオアシス”として「みずべ」の存在はますます大きなものとなっています。

## 利用者の声

ここに来る一番の目的は精神的なリフレッシュ……スタッフの皆さんがいつも優しく声をかけてくれるし、同じ月齢のお母さんやここで知り合った“ママ友”と話しているだけで気持ちよくなりますね。だから、今年から始まる“リフレッシュひととき保育”は大歓迎!ぜひ、利用したいと思います。

## 事業の特徴

開設以来「みずべ」の事業運営の核となっているのは、利用者(7~8名)・ボランティア(2名)・スタッフ(2名)で構成され、隔月1回開かれる「みずべ会議」です。この「みずべ会議」は、“センターをみんなで運営していく場にする”ために設けられたもので、利用者の自主的・積極的な関わりによって、スタッフだけでは気づかない様々な提案やアイデアが生まれ、センターの具体的

な力となって“より良い事業運営”に活かされています。また「みずべ」には、その事業活動を象徴する5つのひろば(ふれあい・学びあい・育てあい・支えあい・分かちあい)があり、親子が自由に遊び過ごせる「ふれあいのひろば」を軸として、それぞれに多彩なプログラムを持つ“ひろば”を有機的に結びながら、総合的な子育て支援を展開しています。その一環として、平成

20年7月にはセンター内で子どもを“短時間・低料金”で預かる「リフレッシュひととき保育」をスタート。この事業には、研修を受けた多数の地域ボランティアの参加が見込まれており、子育て中の“お母さんのリフレッシュ”のみならず、地域全体の活性化を促すものとしても期待されています。